

めぶきフィナンシャルグループ 個人投資家さま向け会社説明会



MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

2021年3月
(東証第1部 7167)

経営理念

質の高い総合金融サービスの提供を通じ、
地域とともに、ゆたかな未来を創り続けます。

グループの創意を結集し、地域の持続的成長に貢献します。

質の高い総合金融サービスの提供により、

地域社会の課題解決を図り、

地域とともにゆたかな未来を創造します。



目 次

① めぶきフィナンシャルグループについて

・会社概要	4
・めぶきFGの歩み	5
・茨城県・栃木県の市場環境／規模	6
・営業地盤・シェア	7
・めぶきFGの強み	8
・海外拠点網の充実／海外展開支援の強化	9
・財務ハイライト(利益水準の推移)	10
・財務ハイライト(効率性・安全性の推移)	11
・財務ハイライト(預金・貸出金の推移)	12

② 第2次グループ中期経営計画

・第2次グループ中期経営計画	14
・地域とともに成長するビジネスモデルの構築	15-20
・生産性向上に向けた構造改革	21-22
・価値創造を担う人材の育成	23-24
・新型コロナウイルス感染症への対応	25-26

③ SDGs

・地域と共生し、ゆたかな「地域社会」を創造する	28-29
・総合金融サービスの拡充と 広域ネットワークを活用した「地域経済活性化」	30
・自然環境の健全な維持を目指し、 ゆたかで美しい「環境」を未来につなげる	31

④ 業績・株主還元

・2020年度第3四半期 業績ハイライト	33
・配当・還元方針	34
・株主優待	35
・めぶきFG株価推移	36
・(参考)経済指標	37

⑤ 資料編

・2020年度第3四半期 決算概要	39
・2020年度業績予想	40
・(参考)ホームページのご案内	41

1 めぶきFGについて

2 第2次グループ中計

3 SDGs

4 業績・株主還元

5 資料編

めぶき F Gについて

1

2

3

4

5

会社概要

上場	東証1部 (証券コード:7167)
従業員数 ('20年3月末)	6,556名 (外、平均臨時従業員数 3,622名)
総資産 ('20年9月末)	20兆 9,676億円
預金残高 ('20年9月末)	15兆 5,591億円
貸出金残高 ('20年9月末)	11兆 4,646億円
自己資本比率 ('20年12月末)	11.29 %
時価総額 ('21年2月末)	2,676億円
格付 ('21年2月末)	めぶきFG A (R&I) 常陽銀行 A+ (R&I)、 A3 (ムーディーズ) 足利銀行 A+ (R&I)
主要インデックスへの採用状況	JPX400 日経株価指数300 日経500種平均株価 TOPIX

グループ体制

('21年4月以降)



常陽コンピューターサービス(株)
常陽信用保証(株)
(株)常陽産業研究所 常陽施設管理(株)
(株)常陽キャピタルパートナーズ



(株)あしぎん総合研究所
(株)ウイング・キャピタル・パートナーズ



めぶき F Gについて

1

2

3

4

5

めぶき F Gの歩み

常陽銀行、足利銀行は、長年にわたりお客さまとのリレーションを築き、地域への深い理解を有する。地域の創生・課題解決に貢献するには両行の協働が最適との認識に至り、2016年に経営統合。

常陽銀行の歴史



1935年

常磐銀行と五十銀行の
合併により常陽銀行が設立

足利銀行の歴史



1895年

栃木県足利郡足利町にて設立

めぶきFGの歴史

設立 86周年

設立126周年



2016年10月

めぶきフィナンシャルグループを発足

2017年4月

めぶきリースを直接出資子会社化

10月

めぶき証券を直接出資子会社化

2020年1月

常陽銀行、足利銀行のシステム統合を完了

2020年10月

めぶき信用保証を直接出資子会社化

2021年4月(予定)

めぶきカードを直接出資子会社化

めぶき F Gについて

1 2 3 4 5

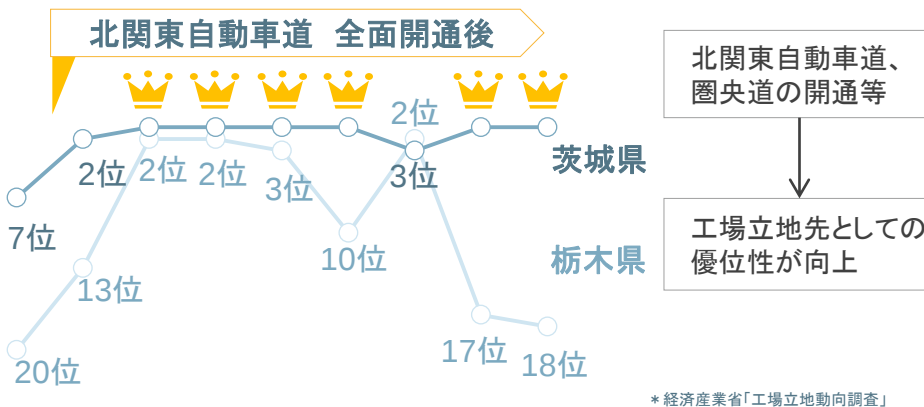
茨城県・栃木県の市場環境/規模

当社グループのマザーマーケットは首都圏に隣接し、全国有数の工場立地地域。
高速道路や鉄道網、港湾、空港の整備も進展し、成長ポテンシャルは高い。

高速道路の連結により、広域ネットワークを形成



工場立地敷地面積



'11年'12年'13年'14年'15年'16年'17年'18年'19年

経済指標

	茨城県	栃木県
人口※1	289万人 11位	195万人 19位
GDP 名目県内総生産※1	13.8兆円 11位	9.1兆円 15位
一人当たり県民所得※1	330万円 7位	341万円 3位
事業所数※2	11.8万事業所 13位	8.8万事業所 19位
製造品出荷額等※3	12.2兆円 7位	9.2兆円 12位
農業産出額※4	4,508億円 3位	2,871億円 9位

※1 内閣府「県民経済計算」
※3 茨城県・栃木県「工業統計調査」

※2 総務省統計局「平成28年経済センサス基礎調査」
※4 農林水産省「平成30年生産農業所得統計」

めぶき F Gについて

1 2 3 4 5

営業地盤・シェア

ポテンシャルの高いマザーマーケットにおける広域なネットワークと強固な営業基盤

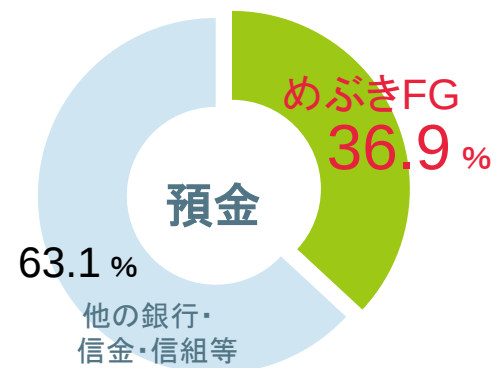
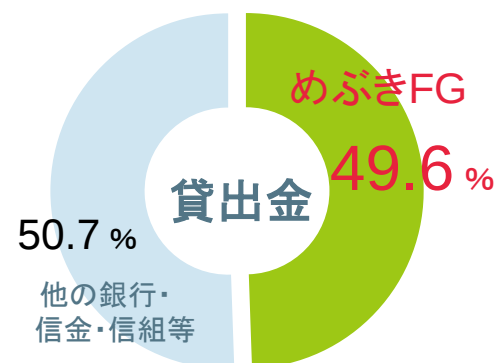
国内店舗ネットワーク

所在地	店舗数
茨城県	159
栃木県	113
埼玉県	20
群馬県	14
福島県	11
東京都	8
千葉	7
宮城	1
大阪	1
国内合計	334

広域なネットワーク



茨城県・栃木県のシェア ※



※ シェアは金融ジャーナル2020.12増刊号のデータをもとに当社が算出 7

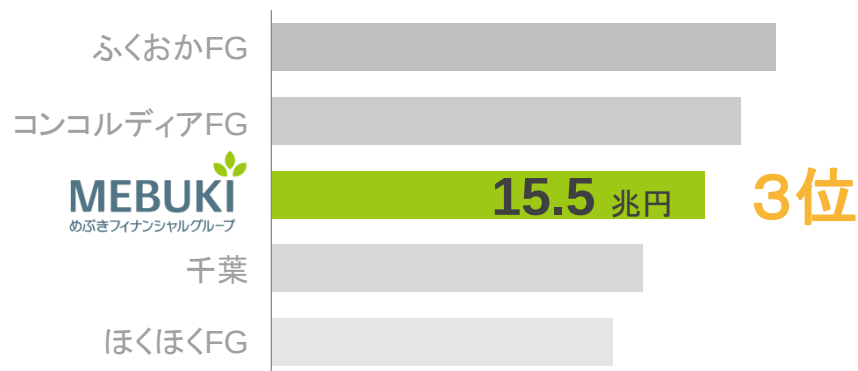
めぶき F Gについて

1 2 3 4 5

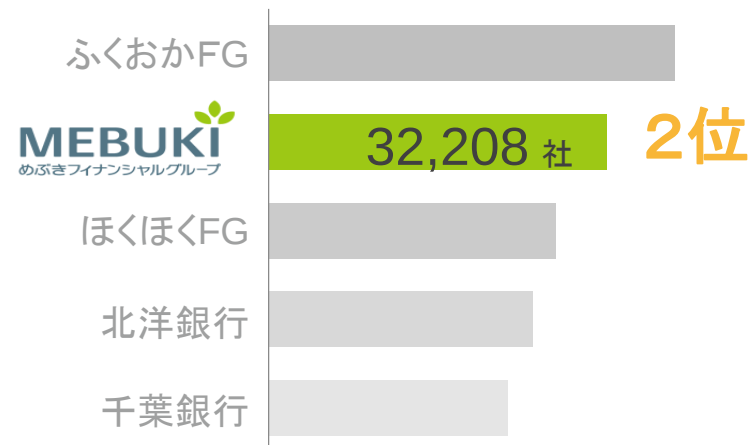
めぶき F Gの強み

広域なネットワークと強固な営業基盤を背景に、資産規模・メインバンク先数は地方銀行業界トップクラス

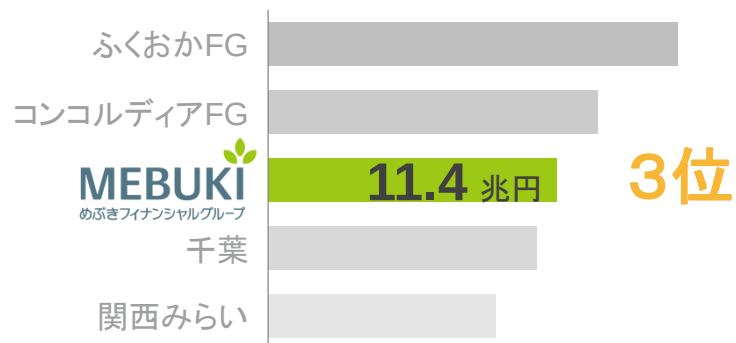
預金残高（'20年9月末現在）



メインバンク先数（'20年3月末現在）



貸出金残高（'20年9月末現在）



（株）東京商エリサーチ「企業のメインバンク調査（2020年）」より、
地方銀行・グループで当社作成

めぶき F G について

1 2 3 4 5

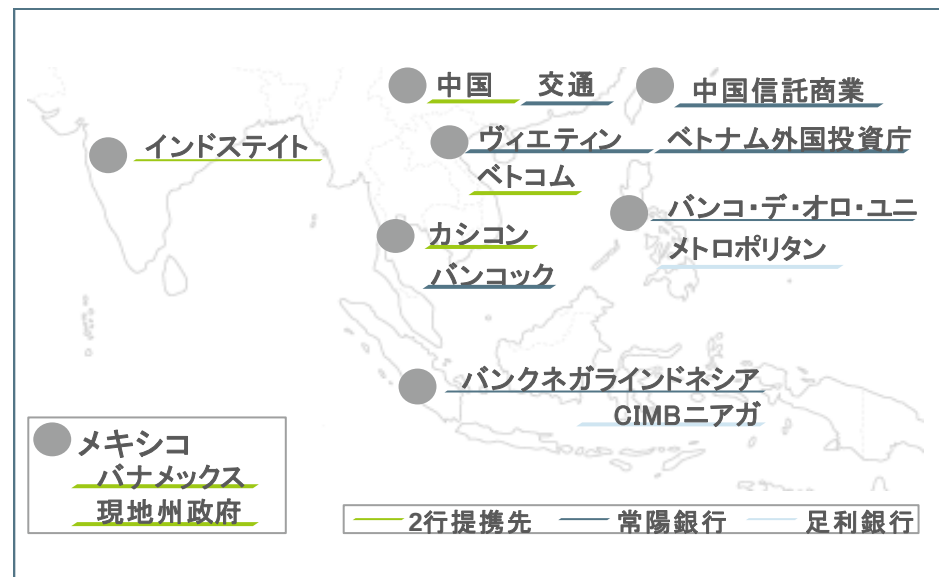
海外拠点網の充実／海外展開支援の強化

(’20年12月末現在)

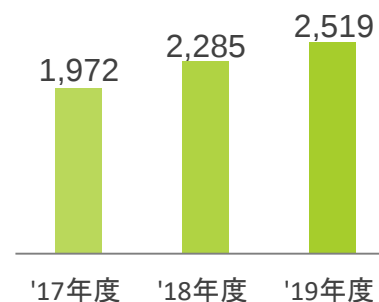
海外拠点(駐在員事務所)



現地金融機関との提携



【海外進出支援件数(件)】



進出先	企業数
中国	556
タイ	264
欧州	225
ベトナム	223
北米	166
シンガポール	156
インドネシア	129
その他	667
合計	2,386

めぶき F Gについて

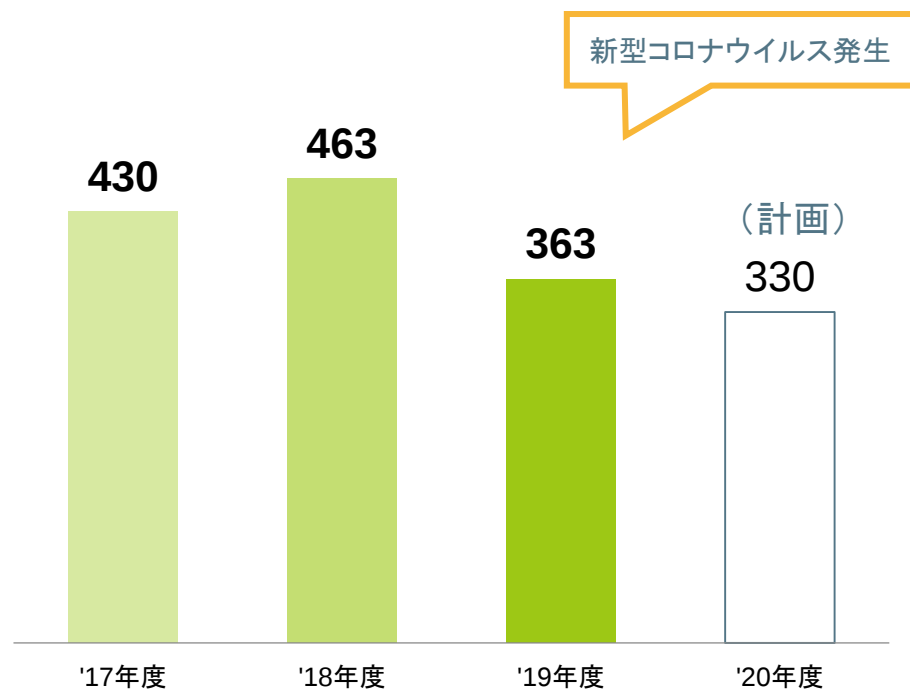
1 2 3 4 5

財務ハイライト（利益水準の推移）

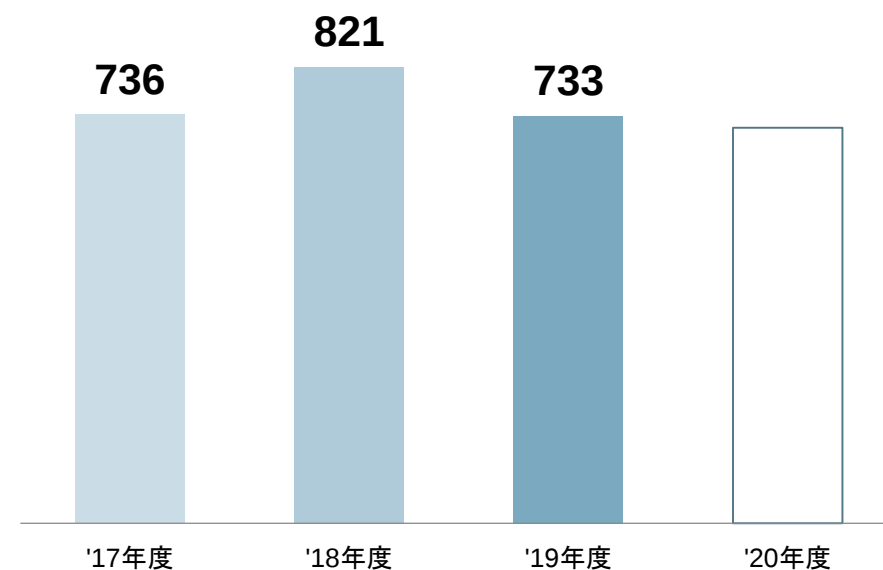
経営統合後は順調に連結純利益を伸ばしていたが、コロナ禍の影響を受け2019年度、2020年度と減益。

ただし、本業の収益力を示すコア業務純益は、経営統合直後の水準を維持。

FG連結純利益



コア業務純益※（銀行合算）



※ コア業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 国債等債券損益

めぶき F Gについて

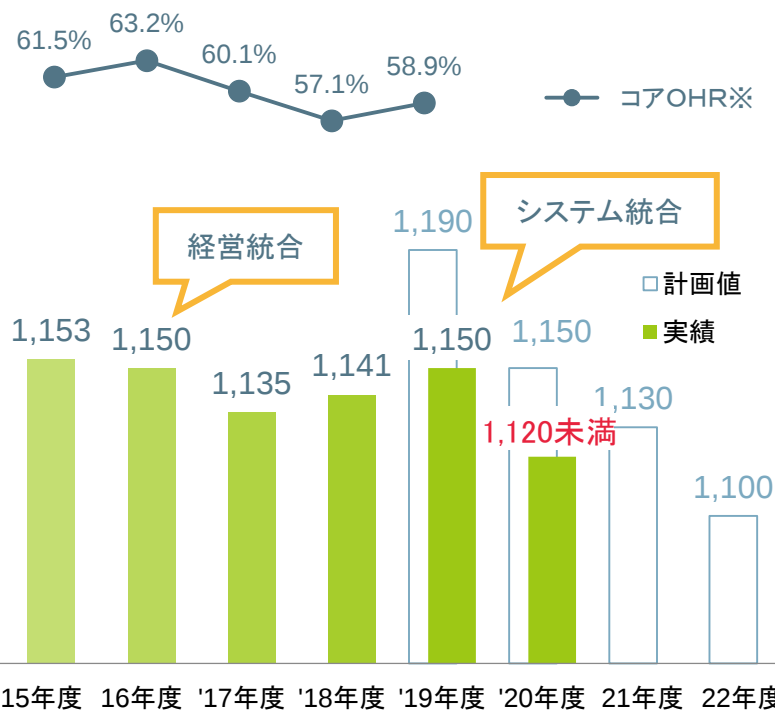
1 2 3 4 5

財務ハイライト（効率性・安全性の推移）

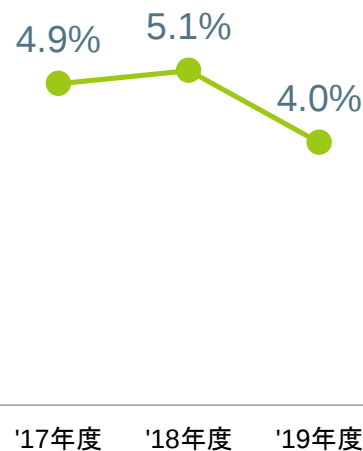
経営統合による効率化は着実に進展し、経費は計画を上回って削減が進む。

コロナ禍の影響を受け、ROEは低下を余儀なくされたが、自己資本比率は最低所要水準である4%を上回って推移。

経費・OHR（銀行合算）



ROE（連結）



自己資本比率（連結）



※コアOHR＝経費（システム統合費用を除く）/ コア業務粗利益（業務粗利益－国債等債券損益）

めぶき F Gについて

1 2 3 4 5

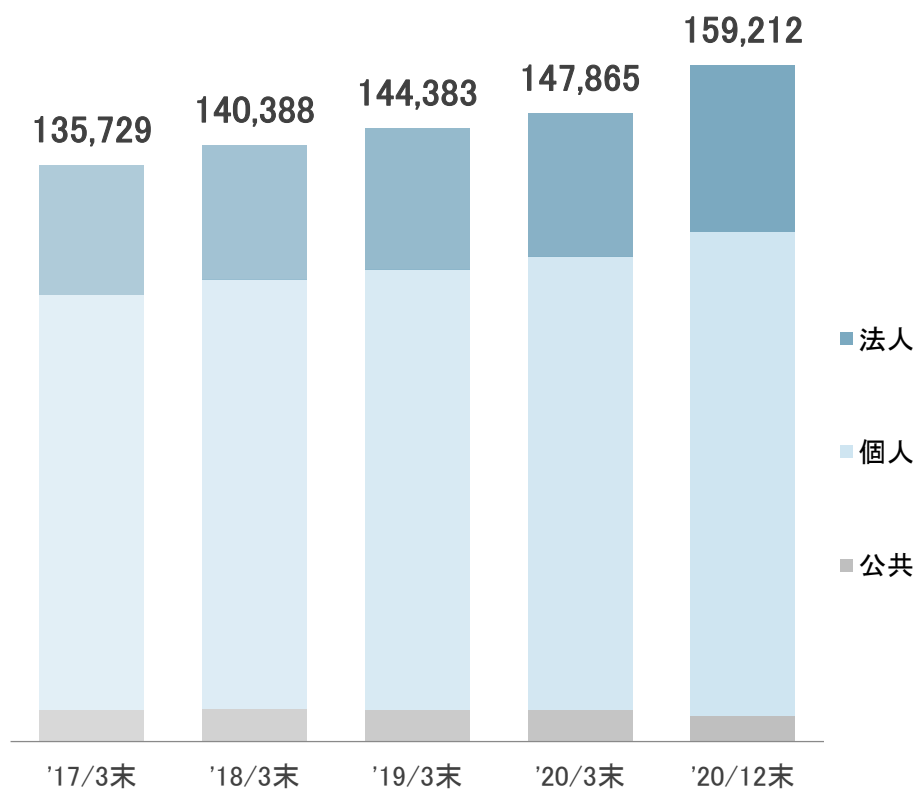
財務ハイライト（預金・貸出金の推移）

預金・貸出金ともに増加基調を継続。

足元はコロナ禍の影響を受け、預金・貸出金ともに増加ペースが拡大。

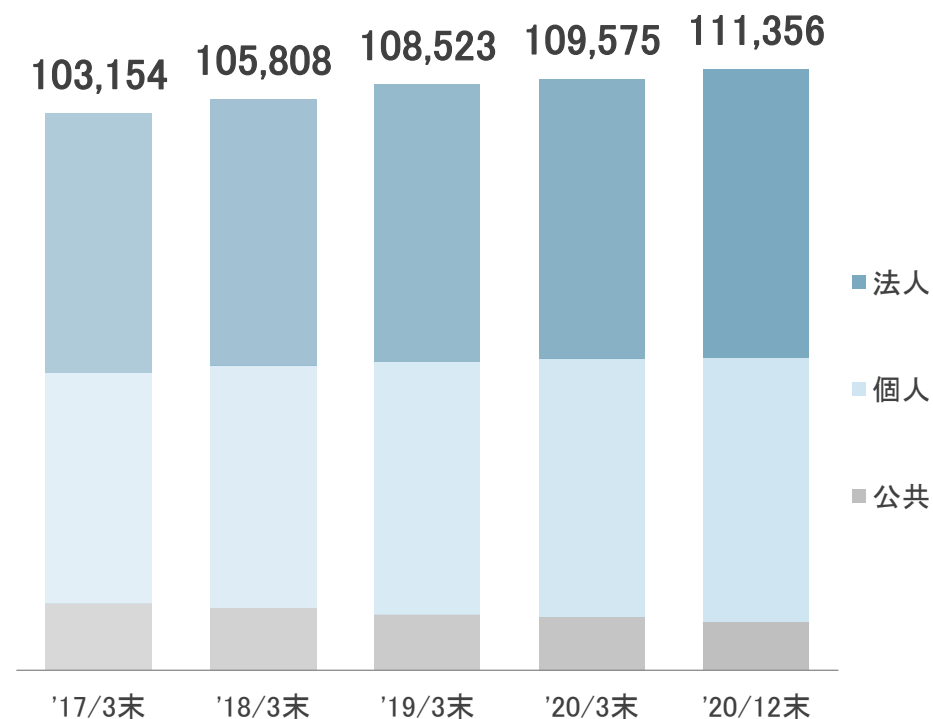
預金

（億円）



貸出金

（億円）



① めぶきFGについて

② 第2次グループ中計

③ SDGs

④ 業績・株主還元

⑤ 資料編

第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

2020年1月の基幹システムの統合を契機に、業務プロセス・組織体制を中心とした構造改革を進め、経営資源を捻出。

捻出した経営資源は、当社グループの強みを生かし、コンサルティング営業やIT分野へと投入。

目指す姿

地域の未来を創造する総合金融サービスグループ

位置付け

本格的な成果の実現・次なる成長への転換期間

計画期間

3年間(2019年4月～2022年3月)

基本戦略

(1) 地域とともに成長するビジネスモデルの構築

- コンサルティング機能の強化

本業支援強化

資産形成支援

- ITサービスの利活用・IT投資強化

利便性向上・BPR

デジタル化支援

キャッシュレス対応

(2) 生産性向上に向けた構造改革

- 生産性の高い経営基盤構築

基幹システム統合

事務フロー統一

店舗ネットワーク見直し

- グループ経営・ガバナンスの高度化

本部、子会社の集約

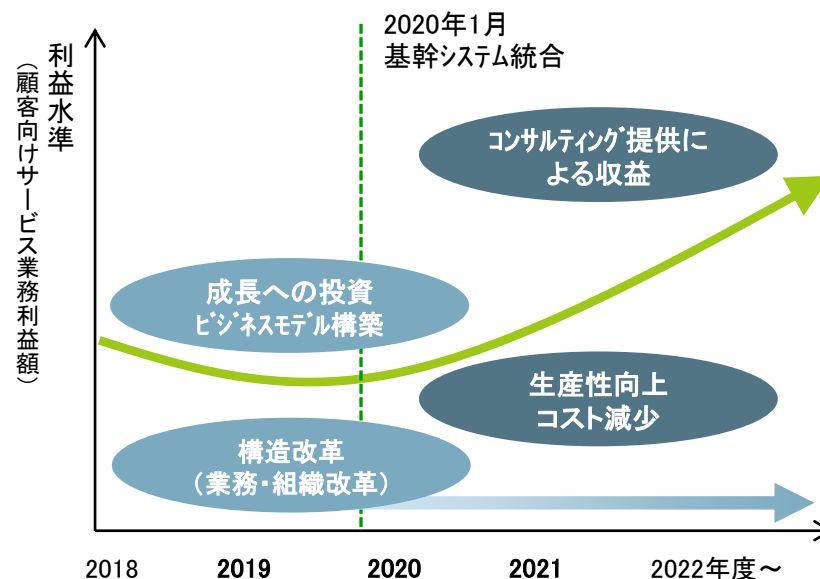
コーポレートガバナンス強化

(3) 価値創造を担う人材の育成

- 専門人材の育成

- 人事・研修制度の拡充 / 働き方改革・ダイバーシティ推進

第2次グループ中計の位置付け



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

当社グループの強みを生かしたコンサルティング機能の強化やITサービス・データの利活用により、お客さまの成長・課題解決を支援。

法人のお客さまの経営課題とニーズ

- 資金繰り、主力商品、製品の売り上げ減少
- サプライチェーンの見直し
- 事業承継、人手不足
- 災害等への対策

など

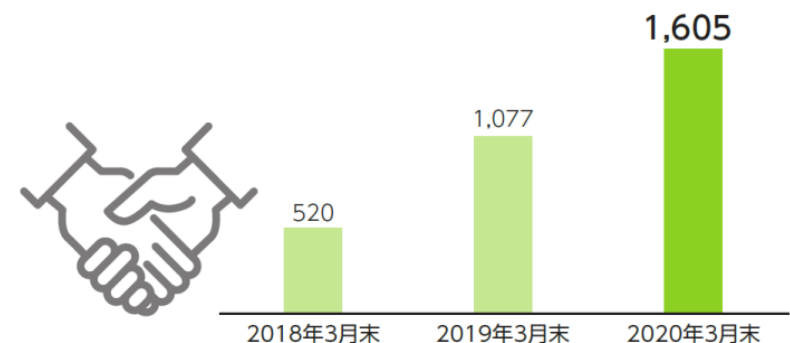
課題解決支援策

- 融資、ファンド等を活用した多様な資金供給
- Webを活用した商談会、ビジネスマッチング
- 販路拡大、仕入れ先の紹介
- ネットワークを生かした事業承継・M&A支援、人材紹介
- BCP計画策定支援、BCP特約付保険の提案

など



【ビジネスマッチング件数(累計・件)】



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

めぶきビジネスアワード

- 地域産業の掘り起こしと新事業創出を支援
 - ✓ 地域の革新的・創造的な事業プランを募集・表彰する「めぶきビジネスアワード」を開催しています。受賞プランの事業化へ向け、技術提案や販売拡大支援に加え、ファンドを活用した金融面での支援などを実施しています。

各種商談会・セミナー

- めぶきFG ものづくり企業フォーラム 2020
 - ✓ 参加企業の一押し技術のパネル展示、「技術提案書」をもとに商談会を実施。
 - ✓ パネル展示:232社、「技術提案書」作成支援:222社、予約商談数:373件
- めぶき食の商談会 オンライン商談会
 - ✓ 商談会をオンライン化。PC,スマホ上で商品展示・商談を行う仕組みを構築。
 - ✓ オンライン出展企業数:97社、オンライン商談件数:805件
- 補助金活用オンラインセミナー(めぶきFG共催)
 - ✓ 事業再構築補助金等の各種補助金の申請のポイントをオンラインで解説。
 - ✓ 参加企業:350社
- 個別企業のニーズに基づく一括商談会(めぶきFG共催)
 - ✓ 仕入企業・発注企業からのニーズに合わせ、納入企業・受注企業をマッチングする一括商談会を随時開催。



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

高齢社会の到来を見据え、地域の皆さまが安心して暮らし続けられる地域社会の実現に向けて、金融ジェロントロジーの知見を活用した金融取引の課題解決や多様なニーズにお応えするサービスの拡充も開始。

高齢化社会の課題

課題解決支援策

- 資産管理
 - 代理人取引の拡充、身元保証、任意後見サービスの提供（常陽銀行）
 - 「後見制度支援預金」取り扱い開始（足利銀行）
- 資産継承
 - 遺言信託や遺言代用信託、保険を活用したサービスの提供
 - 土日限定の相続相談専用の窓口設置（足利銀行）
- 体制整備
 - 警備会社等と連携した「高齢者見守りサービス」の提供（常陽銀行）
 - 市町村等と連携した見守り・役職員による認知症サポーターの資格取得、サービス介助士の配置 など



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

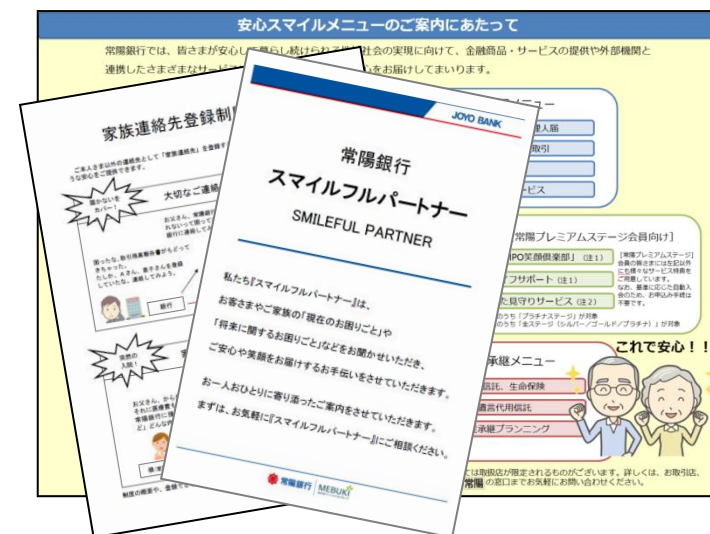
お客さまの資産形成と運用、次世代へのスムーズな資産承継をお手伝いするため、相談窓口を設置し、専門スタッフによるご相談を受け付けています。

休日ウェルスサロン（足利銀行）

- 生前の相続に対する備えから、相続発生後のサポートまで丁寧に対応
- ✓ 土日限定の相続相談窓口
- ✓ 完全予約制・専用相談ブース(個室)で安心
- ✓ ご家族で都合を合わせた相談予約が可能
- ✓ 専門スタッフがわかりやすく丁寧にサポート

スマイルフルパートナー（常陽銀行）

- 高齢のお客さまやご家族のお困りごとに、高齢者専門担当者が対応
- ✓ 金融犯罪防止対応の啓発
- ✓ 現在の困りごと、将来の困りごとへの対応
- ✓ 認知機能低下への対応
- ✓ 次世代への円滑な資産承継への対応



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

デジタル技術を活用したサービスの拡充を推進。

ITサービスの拡充

- 非対面取引サービスの拡充
 - ✓ Web申し込み完結商品の拡充
(マイカーローン、カードローン、教育ローン、フリーローン、医療保険)
 - ✓ 銀行アプリの提供機能を拡大
- 利便性の高いインターネットバンキング・スマホアプリの拡充・提供
 - ✓ 預金の残高・明細確認のほか、Pay-easy払込みなど各種機能を提供。
 - ✓ 普通預金・投資信託の口座開設もアプリで簡単に。
 - ✓ 2021年3月より、**新バンキングアプリ**のサービス開始予定

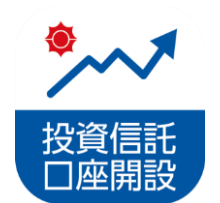


常陽銀行
インターネットバンキング
契約先数 **63万** 先



あしぎんアプリ
累計 **26万** ダウンロード

【マイカーローン実行件数(件)】



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

デジタル技術はお客さまに着実に浸透。

バンキングアプリは、個人のお客さまのメインチャネルに。

通帳アプリ



● 導入コンセプト

- ✓ 「いつでも、どこでも、簡単に、」
- ✓ 入出金明細や残高の確認を可能に
- ✓ 通帳の記帳や繰越も不要

新バンキングアプリ



常陽
バンキングアプリ



足利銀行アプリ

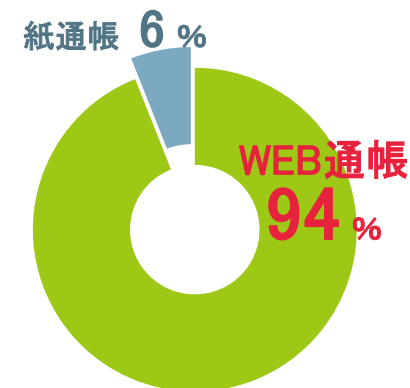
● 導入コンセプト

- ✓ 「銀行を持ち歩く」ように「自宅に
いながら銀行の用事が済む」のが
当たり前の世界を実現したい。
- ✓ ストレスのない取引を可能としたい。

2021年3月
サービス開始

● 導入後の効果

- ✓ 累計ダウンロード数 **51万件**
- ✓ 新規口座を開設する個人のお客さまの約9割が
「紙の通帳」ではなく「WEB通帳」を選択



● アプリの特徴

- ✓ 書類・印鑑による契約不要。アプリダウンロード
＋口座登録で即利用が可能
- ✓ ほとんどの取引が**3タップで完結**。
操作上のストレスを排除

第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

生産性向上に向けた構造改革

本部組織・グループ会社の再編・統合等を進め、グループ全体で効率的な組織体制を目指す。

本部組織・グループ会社の再編・統合

本部組織

- システム企画・管理機能を集約し、持ち株会社内に「システム統括部」を新設【2020年6月】。
- 事務統括・企画機能を集約し、持ち株会社内に「事務統括部」を新設予定【2021年4月】。
- 事務集中業務について、プロセス、システム等を統一。カード発行、電話受付業務等は一つに集約。

業務量削減 **50名相当** (システム部門)

業務量削減 **400名相当** (事務統括・企画、事務集中部門)

グループ会社

- グループ内に重複する保証子会社【2020年10月】、カード・クレジット子会社【2021年4月】を一つに集約し、めぶきFGの直接出資子会社とする。

業務量削減 **40名相当** (子会社)

店舗ネットワークの見直し

3年間の見通し
(ウチ2020年12月累計実績)

統廃合 51拠点 (21拠点)

軽量化(*) 104拠点 (64拠点)

155拠点以上の効率化
【国内店舗の4割以上】

業務量削減 **500名相当**
(営業店事務)

店舗ネットワークの見直しは、バンキングアプリ導入など非対面チャネルの拡充とともに展開し、お客さまとの接点の維持・拡大を進めていく。

* ATMやタブレットを活用したセミセルフ窓口により、納税手続や各種届出受付等の事務を効率化させる一方、資産運用などの各種金融サービスのご相談・申込受付の窓口を充実させています。

デジタル技術を活用したサービスの拡充



支店窓口での高度なコンサルティングの提供

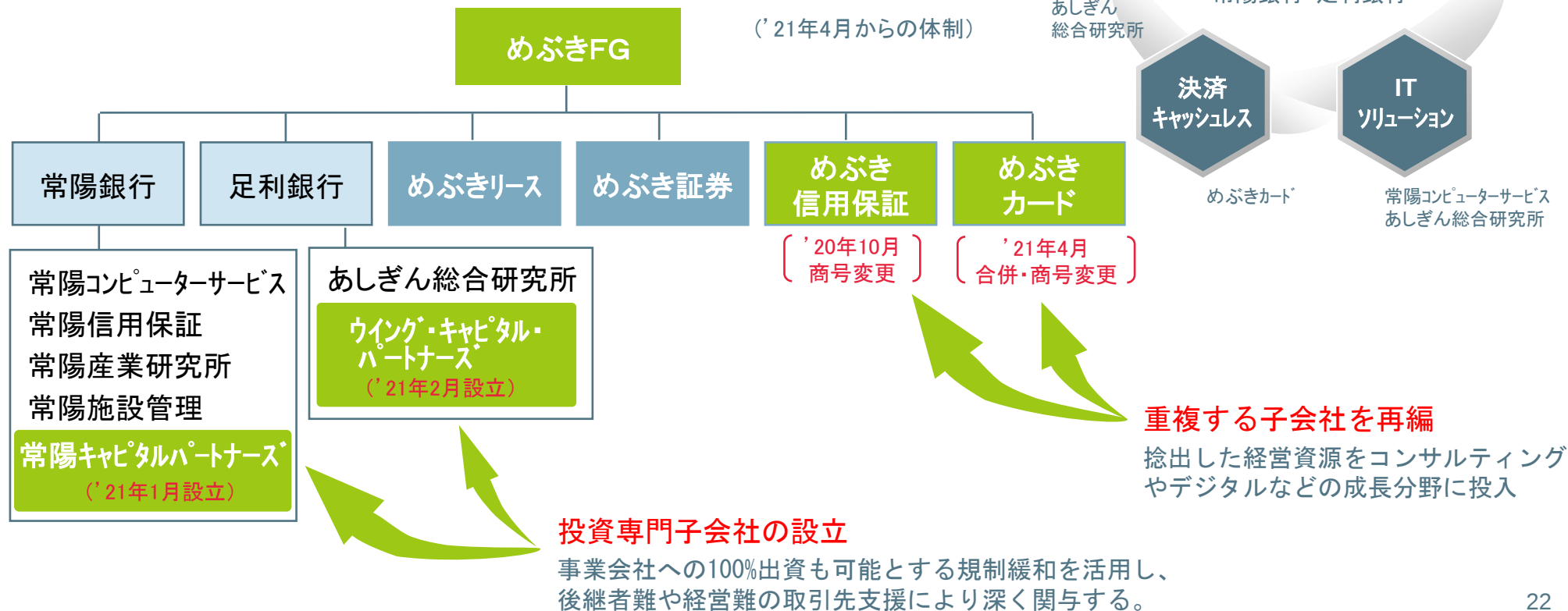
第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

生産性向上に向けた構造改革

グループ内に重複する業務を1つの組織に集約。また、規制緩和を踏まえ投資専門子会社を設立。

総合金融サービスグループとして、銀行以外の連結子会社の利益貢献を高めていく。



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

価値創造を担う人材の育成

専門人材の育成

● IT技術を活用できる人材の育成

✓ 高いIT関連のスキルを持った人材を増やし、当社グループのITサービスやデータの利活用を進めるとともに、グループ内で実用化したツールやノウハウをお客さまへ提供することを目指しています。

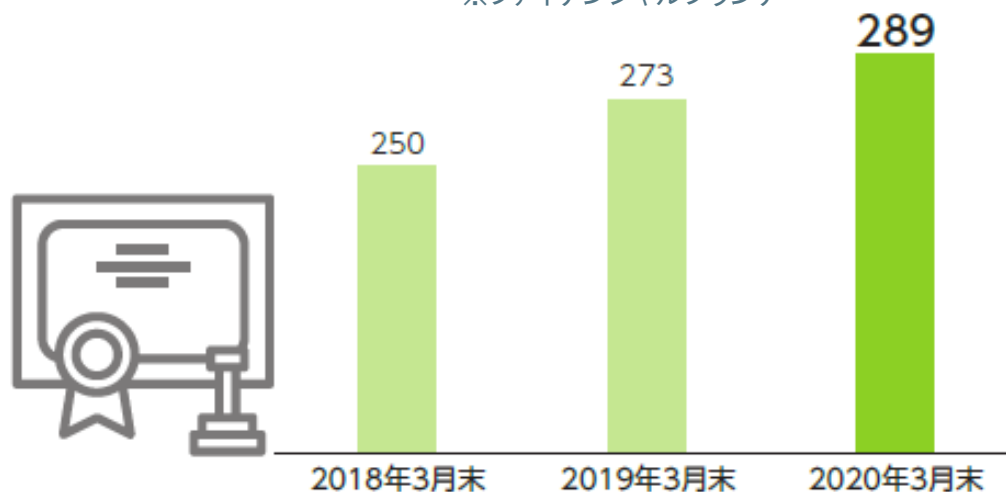
● 専門知識の習得・資格取得

✓ ファイナンシャルプランナー、中小企業診断士や証券アナリスト等の各種資格取得に向けた支援を実施しています。



【FP※1級取得者数(累計・名)】

※ファイナンシャルプランナー



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

価値創造を担う人材の育成

ダイバーシティの推進

● 女性の活躍推進

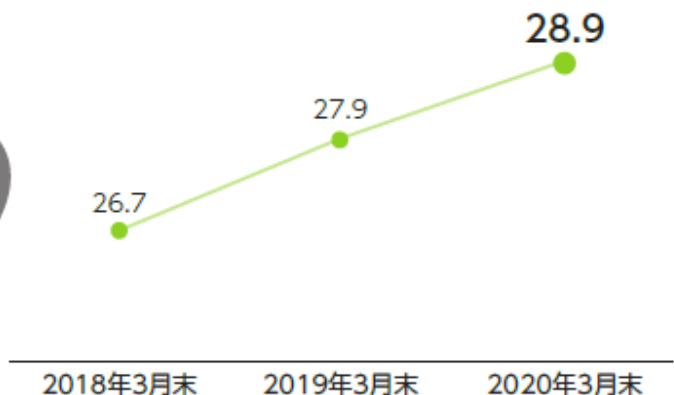
- ✓ 意欲と能力のある女性を係長以上の役職に積極的に登用しています。
- ✓ グループ全体としての女性活躍推進をリードし、若手女性のロールモデルになりうる女性リーダーを育成するため、「めぶき女性塾」を開催しています。

● 働きやすい環境づくり

- ✓ ライフスタイルや育児・介護などのライフステージに合わせた働き方ができるよう、制度や環境の整備を行っています。



【女性の係長以上の割合(%)】



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

新型コロナウイルス感染症への対応

円滑な資金供給による資金繰り支援

コロナ関連貸出金実行額 4,273億円 (2020年12月末現在)

- お客様の健康と安全を最優先するとともに、円滑な金融サービスの提供に努め、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているお客さまを全力を挙げて支援しております。
 - ✓ 融資相談窓口・休日相談窓口の設置
 - ✓ 「雇用調整助成金等に関する個別相談会」の開催
 - ✓ 非対面サービスの充実 など



コンサルティング機能を活用した課題解決支援

- コロナの影響を受けている法人のお客さまに対し、本部の専担者と営業店が一体となって、サプライチェーンや販売チャネルの拡大、業務のIT化、事業承継などさまざまな経営課題の解決支援に取り組んでいます。
- また、コロナの影響により収入が減少し、住宅ローンなどの返済が困難になった個人のお客さまからの条件変更等に係るご相談をお受けしております。



第2次グループ中期経営計画

1 2 3 4 5

新型コロナウイルス感染症への対応

感染防止を考慮した店舗施策

- お客様の安心と安全、ならびに従業員とその家族の健康を最優先するとともに、社会インフラとしての金融サービスの提供に努めております。
 - ✓ 交代勤務および昼休業の導入
 - ✓ ソーシャルディスタンスを確保したロビー・ATM
 - ✓ マスク着用、飛沫防止アクリル板等の設置
 - ✓ テレワーク・スプリット勤務対応



お客さまとの接点を確保

- コロナ禍で訪問営業が制限されるなか、電話やメール、Web面談ツールを積極的に活用し、お客さまとの接点確保に努めました。
 - ✓ お客さまとのコミュニケーション
 - ✓ オンラインセミナーの実施



① めぶきFGについて

② 第2次グループ中計

③ SDGs

④ 業績・株主還元

⑤ 資料編

社会の問題

人口減少
高齢化

資産形成
資産承継

企業成長
事業承継

デジタルイゼーション

ダイバーシティ・
インクルージョン

環境保全・
気候変動

コンプライアンス

当社グループの取り組み

地域と共生し、ゆたかな「地域社会」を創造する

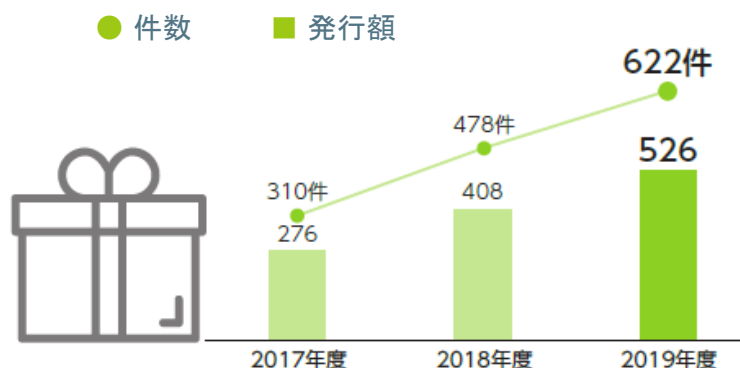
● SDGs私募債の取り扱い

- ✓ お客さまが私募債を発行する際に、銀行が受け取る手数料の一部を活用し、お客さまが希望する学校やSDGsに取り組む団体、医療機関に物品等を寄贈しています。
- ✓ これまで1億2千万円を超える寄贈を行っています。

【寄贈された玩具で遊ぶこどもたち】



【寄贈サービス付私募債発行状況(累計・億円)】



当社グループの取り組み

地域と共生し、ゆたかな「地域社会」を創造する

● 子供たちの自立する力の育成支援

- ✓ 次世代を担う子どもたちを対象に、お金の大切さや銀行の役割を学んでいただく「金融教室」を開催しています。また、高校生や大学生を対象に、金融経済の仕組みや具体的な金融業務への理解を目的とした金融教育講座を提供しています。



【金融教育開催状況（2019年度）】

対象者	回数	受講者数
小学生	51回	1,100名
中学生	33回	374名
高校生	13回	496名
大学生	23回	295名
専門学校生ほか	5回	97名
合計	125回	2,362名

当社グループの取り組み

総合金融サービスの拡充と広域ネットワークを活用した「地域経済活性化」

● 新たな市場開拓・経済交流の拡大

- ✓ 当社グループの広域ネットワークを生かし、農業、食、ものづくり関連の各種商談会を両行共同で開催し、お取引先同士のビジネスマッチング等を支援しています。
- ✓ また、商談会は従来の対面式からWebを活用したオンライン商談会に変更するなど、社会状況に合わせた新たな形での支援にも取り組んでいます。



● 「パートナーシップ構築宣言」の公表

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなか、中小企業の事業継続と取引適正化を後押しし、大企業と中小企業が共に成長できる共存共栄の関係を構築することを目的とした「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。
- ✓ 事業を営むお客さまが下請事業者さまとの共存共栄を図り、持続的な成長へと繋がるよう、本宣言の導入を支援していきます。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



8 働きがいも経済成長も



11 住み続けられるまちづくりを



当社グループの取り組み

自然環境の健全な維持を目指し、ゆたかで美しい「環境」を未来につなげる

● 環境関連投融資・環境配慮型私募債

- ✓ 環境やSDGsに配慮した投融資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献しています。
- ✓ 環境省が実施する「2020年度地域ESG融資促進利子補給事業」の指定金融機関として採択されました。
- ✓ 環境省や自治体など銀行が定める機関からの認定・認証等を取得している企業を対象に「環境配慮型私募債」を取り扱っています。

● 環境保全活動

- ✓ ふるさとの美しく健全な森を次世代に引き継ぐため、植樹活動や環境教育の普及などの活動を行っています。
- ✓ 紙の削減に向け、WEB通帳を推進するなど、限りある資源の保護に取り組んでいます。



① めぶきFGについて

② 第2次グループ中計

③ SDGs

④ 業績・株主還元

⑤ 資料編

2020年度第3四半期 業績ハイライト

	第3四半期実績	通期業績予想	進捗率
FG連結純利益 ^(※1)	294億円 (前年同期比△59億円)	330億円	89.3%
信用コスト(銀行合算)	136億円 (前年同期比+13億円)	(通期計画)200億円	68.1%

- FG連結純利益^(※1)の通期業績予想に対する進捗率は89.3%。通期計画に対し順調に進展。
- コロナ禍は長期化しているものの、信用コストおよび営業面への第3四半期までの影響は、業績予想公表時(2020年5月)の想定内に収まる。
- ただし緊急事態宣言が延長されるなど、依然として先行き不透明な状況にあることから、通期業績予想は当初公表値を据え置く。

(※1) 親会社株主に帰属する四半期純利益

第2次中期経営計画の進捗

	第3四半期実績	前年同期比
経費(銀行合算)	825億円	△35億円(△4.0%)
コア業務純益 ^(※2) (銀行合算)	517億円	+18億円(+3.7%)

- コンサルティング機能の強化は、投資専門子会社の設立も含め、常陽、足利銀行において体制面を整備。
- 構造改革は、店舗ネットワークの見直し、集中部署・子会社の再編を中心に実施。
この結果、経費削減が進展し、本業の収益力を示すコア業務純益^(※2)は前年同期比18億円の増益。

(※2) 除く投信解約損益

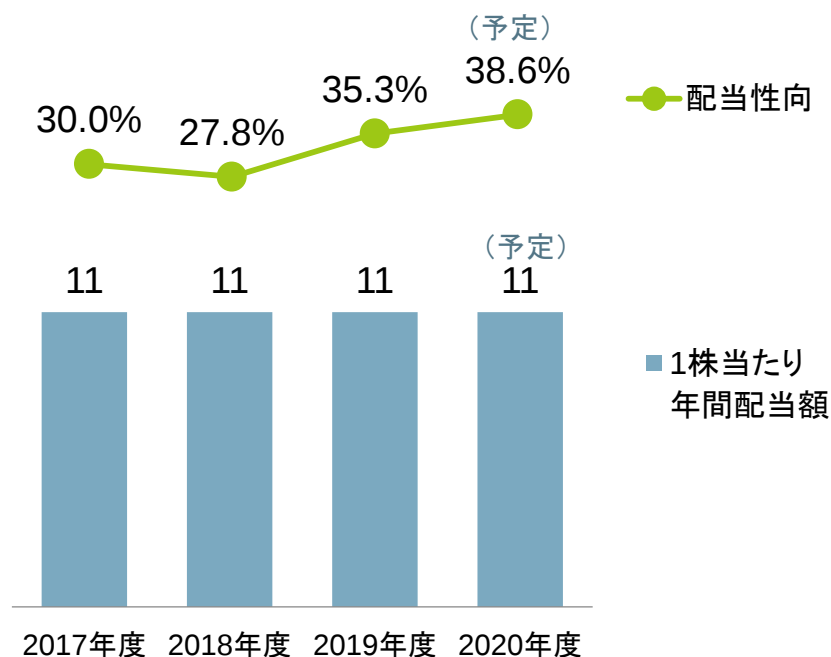
配当・還元方針

● 配当・株主還元方針

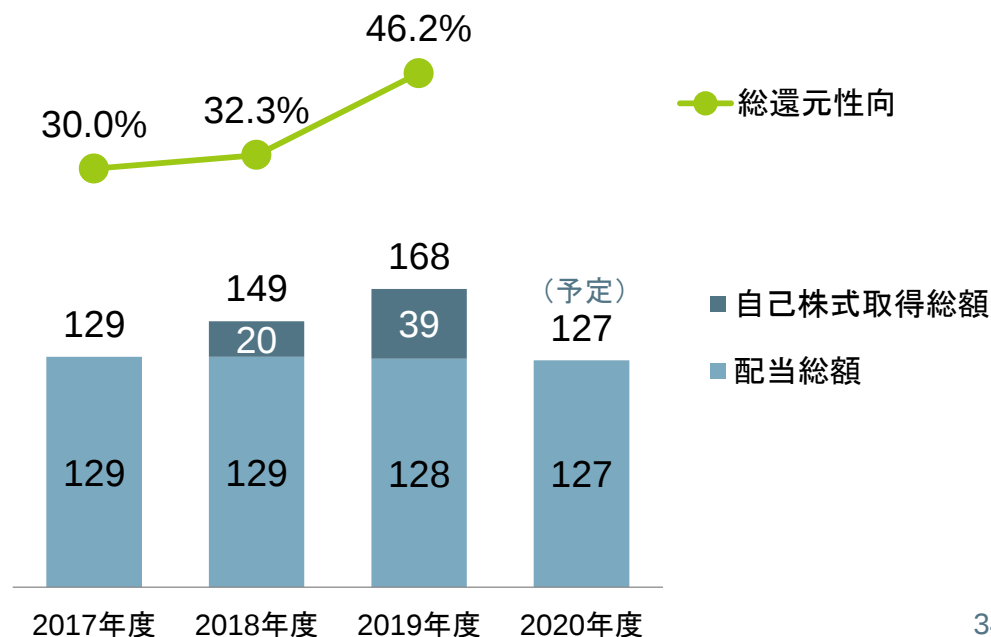
- ✓ グループとしての成長に向けた資本の確保と株主の皆さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、総還元性向(*1)30%以上を目安といたします。水準等については、引続き検討してまいります。

(*1) 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得総額) / 親会社に帰属する当期純利益

配当実績



株主還元実績



1 2 3 4 5

当社は、お客さま・地域の成長に貢献するため株主優待制度で地元を応援します。

毎年3月末日時点で1,000株以上をお持ちの株主さま

地元特産品等を記載の専用カタログから、保有株式数に応じて
お好みの特産品をお選びいただきます。

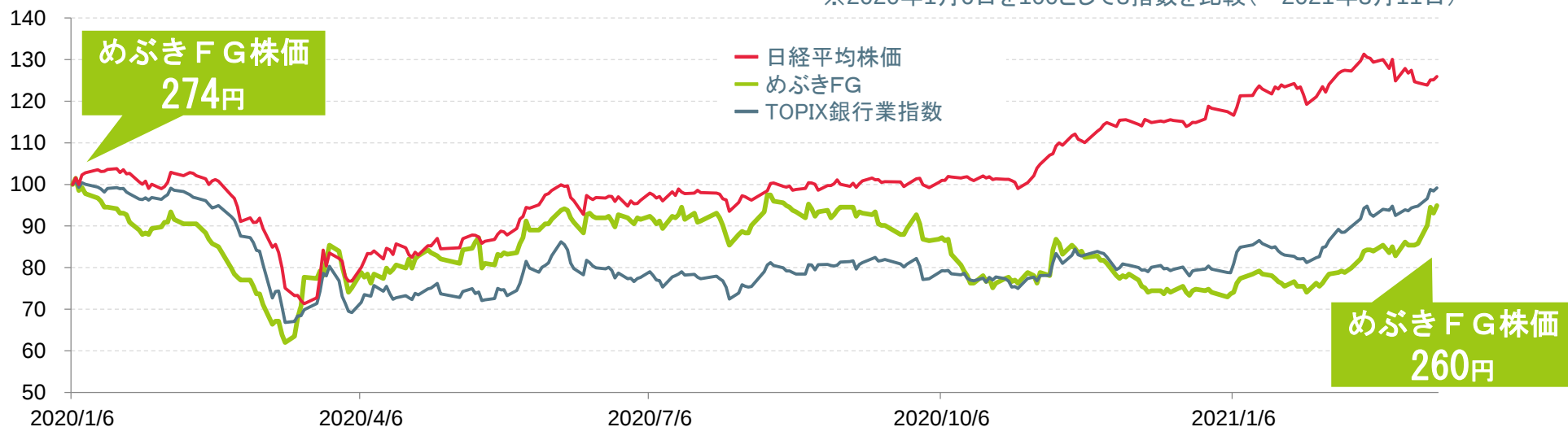


最新の情報はこちら

A collage of various Japanese food products. It includes a plate of gyoza (dumplings), a plate of octopus (tako) decorated with a red and white polka-dot cloth, a plate of fish (likely salmon), a plate of fresh vegetables (broccoli, carrots, and mushrooms), a plate of packaged goods (possibly dried fish or seaweed), and a stack of packaged goods (possibly dried fish or seaweed). The products are arranged in a circular pattern around a central plate of fresh vegetables.

めぶきFG株価推移

※2020年1月6日を100として3指数を比較（～2021年3月11日）



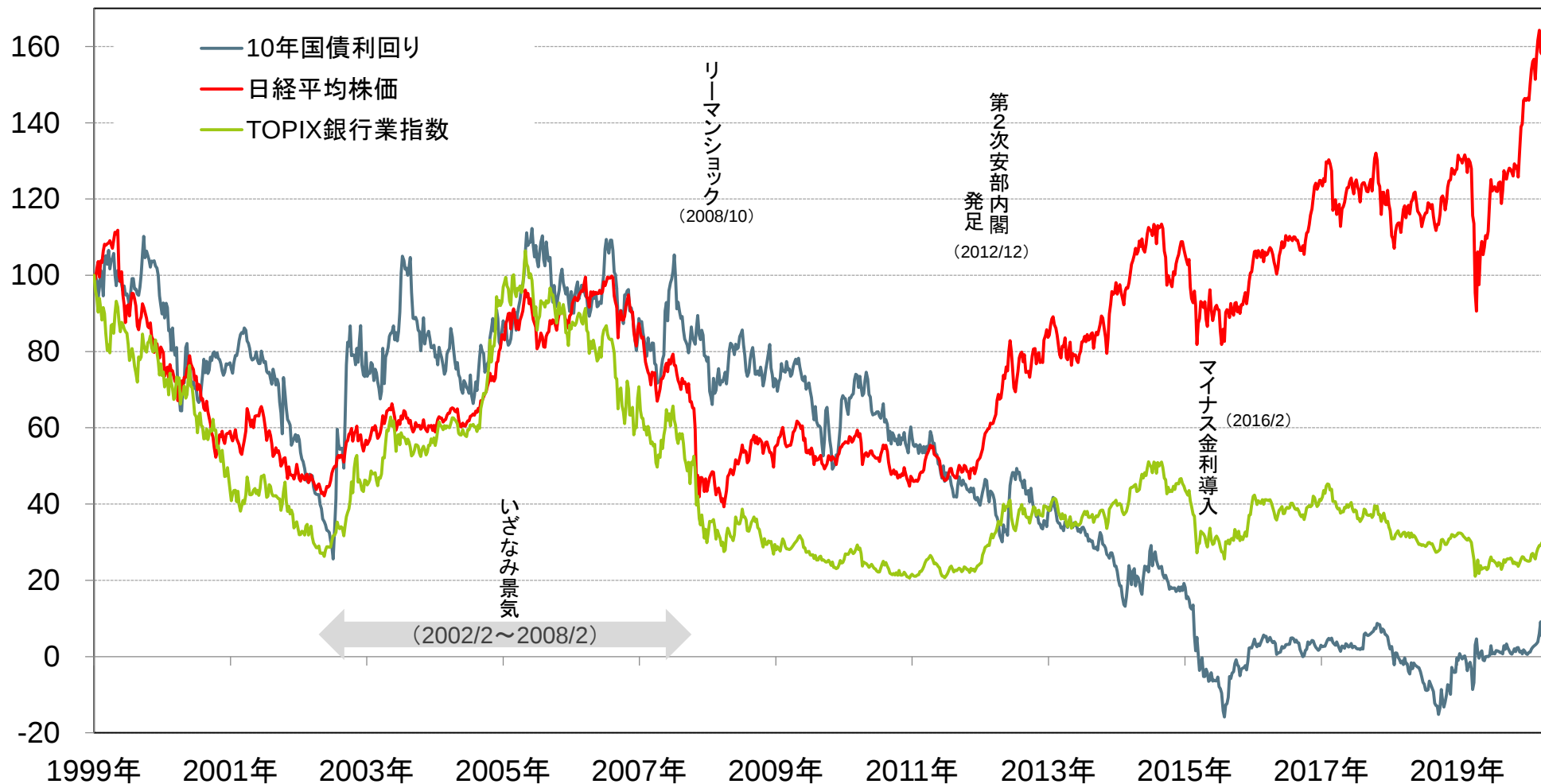
株価指標（地方銀行・グループの時価総額上位3社、近隣行）

（2021年3月11日終値）

	株価	発行済株式数	時価総額	配当利回り	PBR	PER
千葉銀行	744円	815百万株	6,067億円	2.68%	0.56倍	11.39倍
コンコルディアFG	460円	1,209百万株	5,564億円	3.69%	0.48倍	13.85倍
静岡銀行	870円	595百万株	5,177億円	2.52%	0.47倍	11.88倍
めぶきFG	260円	1,179百万株	3,065億円	4.23%	0.31倍	8.60倍
群馬銀行	388円	435百万株	1,691億円	3.35%	0.31倍	7.95倍
武蔵野銀行	1,827円	33百万株	617億円	4.37%	0.25倍	7.55倍

(参考) 経済指標

10年国債利回り・日経平均株価・TOPIX銀行業指数の推移



※1999年12月10日を100として3指数を比較(～2021年3月5日)

① めぶきFGについて

② 第2次グループ中計

③ SDGs

④ 業績・株主還元

⑤ 資料編

2020年度第3四半期 決算概要

① ② ③ ④ ⑤

めぶきFG連結

	(億円)		
	2020年度 第3四半期	前年 同期比	通期業績予想に 対する進捗率
連結粗利益	1,445	△19	-
資金利益	1,141	+13	-
(うち預貸金利息差)	(801)	(△2)	-
役務取引等利益	283	△10	-
特定取引利益	25	+0	-
その他業務利益	△4	△23	-
営業経費	866	△27	-
与信関係費用(信用コスト)	147	+7	-
株式等関係損益	8	△53	-
経常利益	448	△55	92.3%
特別損益	△7	△5	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	294	△59	89.3%

【FG連結調整】 △76億円

足利銀行子会社からの受取配当金 △41億円
有価証券連単簿価差に伴う調整額等 △29億円など

【参考】銀行合算

- 四半期純利益(銀行合算)328億円には、足利銀行子会社からの受取配当金41億円を含みます(特別損益に計上)。ただし子会社からの受取配当金は連結消去されるため、FG連結決算へ影響はありません。

銀行単体合算／グループ会社合算

	(億円)		
【銀行合算】	2020年度 第3四半期	前年 同期比	通期業績予想に 対する進捗率
業務粗利益	1,391	△32	-
(コア業務粗利益)	1,403	△19	-
資金利益	1,163	+0	-
(うち預貸金利息差)	(793)	(△2)	-
(うち投信解約損益)	(60)	(△3)	-
役務取引等利益	227	△11	-
その他業務利益他	0	△21	-
(うち国債等債券損益)	△11	△12	-
経費	825	△35	-
実質業務純益	566	+3	-
コア業務純益	577	+15	-
コア業務純益(除く投信解約損益)	517	+18	-
一般貸倒引当金繰入額(a)	8	+4	-
業務純益	557	△0	-
臨時損益	△123	△71	-
うち不良債権処理額(b)	127	+9	-
うち株式等関係損益	19	△51	-
経常利益	434	△71	92.3%
特別損益	33	+36	-
四半期純利益(銀行合算)	328	△29	98.1%
四半期純利益(銀行+グループ会社合算)	371	△23	-
信用コスト(銀行合算) (a) + (b)	136	+13	(68.1%)

2020年度業績予想

1 2 3 4 5

めぶきFG連結

(億円)

	2020年度 通期予想	2020年度 第3四半期実績	進捗率
経常利益	485	448	92.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	330	294	89.3%

銀行合算

(億円)

	2020年度 通期予想	2020年度 第3四半期実績	進捗率
経常利益	470	434	92.3%
当期純利益	335	328	98.1%
(信用コスト)	200	136	68.1%

銀行単体

(億円)

(常陽銀行)	2020年度 通期予想	2020年度 第3四半期実績	進捗率
経常利益	305	276	90.6%
当期純利益	210	176	84.1%

(足利銀行)

(億円)

	2020年度 通期予想	2020年度 第3四半期実績	進捗率
経常利益	165	157	95.6%
当期純利益	125	152	121.6% (*1)

(*1) 足利銀行単体の当期純利益の中間期実績には、子会社からの受取配当金41億円を含みます(特別損益に計上)。ただし子会社からの受取配当金は連結消去されるため、FG連結決算への影響はありません。

(参考) ホームページのご案内

1 2 3 4 5

ホーム

<https://www.mebuki-fg.co.jp/>

株主・投資家の皆さま

<https://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/>



業績・財務情報

株式のご案内

IRライブラリー

ESGへの対応

株主優待について

IRカレンダー

IRに関するよくあるご質問

など、随時更新してまいります。



最新の情報はこちら

本件に関するお問合せ先

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <https://www.mebuki-fg.co.jp/>

ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより実際の数値と異なる可能性があります。